

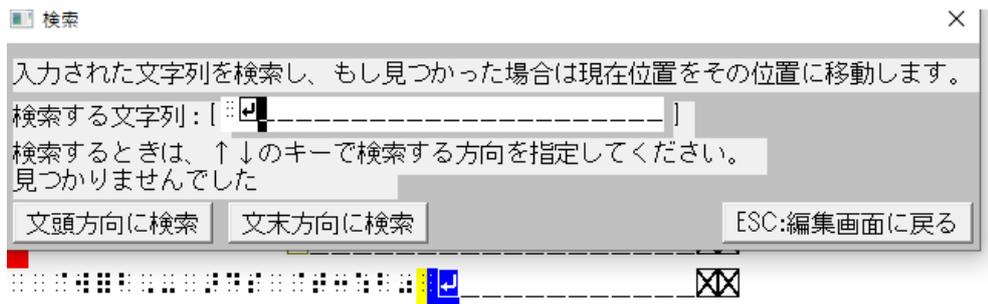
## (校正になれてきたらこんなことも…)

•本文開始や奥付が奇数ページ始まりになっているか？ → 1ファイルごとのページ数は必ず偶数になります。

✗ 129/129ページ 6行 25マス 文書サイズ：18行 32マス

○ 128/128ページ 6行 25マス 文書サイズ：18行 32マス

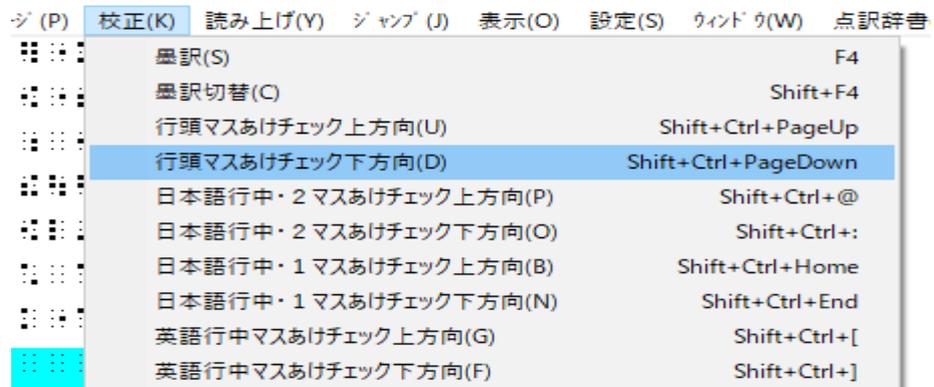
•改行・改ページマーク前の不要なマスアケはないか？ → メニューの【編集】の【検索】機能を使う。



•点字編集システムの【校正】機能を使って、行頭マスアケ、行中の2マス・1マスあけチェックができるので活用する。 行頭マスあけチェック下方向 → Shift+Ctrl+PageDown

行中2マスあけチェック下方向 → Shift+Ctrl+:

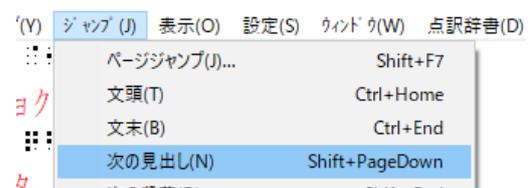
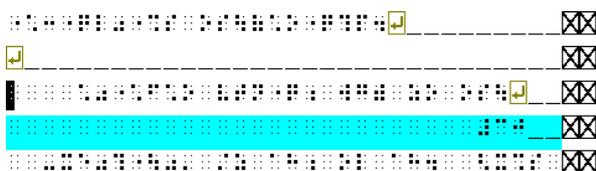
行中1マスあけチェック下方向 → Shift+Ctrl+End



•見出しが2行以上になり、ページをまたいでいないか？

見出しだけがそのページに残っていないか？

次の見出し → Shift+PageDown



# マスあけチェック

(参考)点字編集システムマニュアルより

## 行頭マスあけチェック

- 1.Shift+Ctrl+PageDown (PageUp)を押す度にカーソル位置から文末(文頭)方向に行頭のマスあけチェックを実行します。
- 2.行頭のスペースが奇数個になっている行の行頭にカーソルが移動します。

## 行中マスマスあけチェック(2マス)

- 1.Shift+Ctrl+:(@)を押す度に、カーソル位置から文末(文頭)方向にチェックを開始します。
- 2.行中および行末のスペースについて、句点・疑問符・感嘆符の後が2マスあけかチェックし、1マスまたは3マス以上のスペースの位置にカーソルが移動します。2マスあけでも直後に閉じ符号があればカーソルが移動します。

## 行中マスマスあけチェック(2マス)

- 1.Shift+Ctrl+End(Home)を押す度に、カーソル位置から文末(文頭)方向にチェックを開始します。
- 2.行中および行末のスペースについて、句点以外の後が1マスあけかチェックし、2マス以上のスペースの位置にカーソルが移動します。1マスあけでも直後に閉じ符号があればカーソルが移動します。

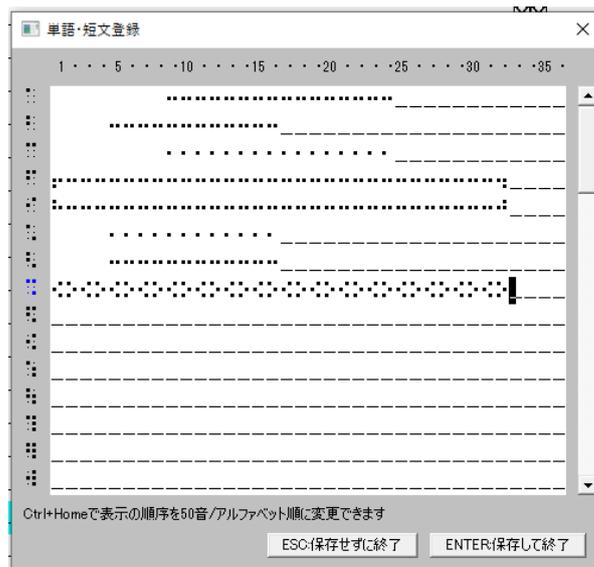
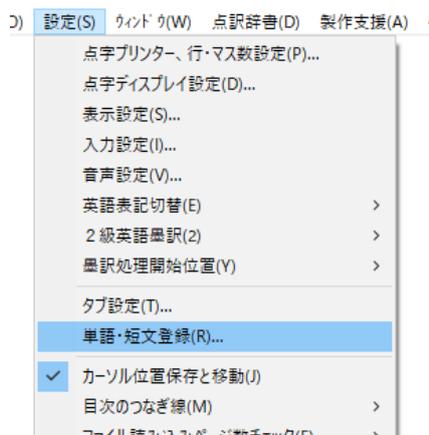
## 単語・短文登録(「設定」4「単語・短文登録」)

繰り返し使用される言葉は単語・短文登録しておくことと簡単に間違いなく入力することができます。全ての点字(63種)に対して登録ができます。

「設定」の「単語・短文登録」で単語・短文を登録する画面が表示されます。

・↑↓で文字列を登録したい点字の位置にカーソルを移動し、その文字で呼び出す文字列を入力します。

### 単語・短文登録の活用法



よく使われる「コタコタ(⠠⠠⠠⠠⠠⠠)」や、十数マスから数十マスに及ぶ棒線・点線など、また、特殊音を含んだりマス数の多い外国の固有名詞などを登録しておくこと、入力の際とても便利です。

点字編集画面に戻ったところでメニューの中の「編集」の中の「単語短文入力」を選択します(Ctrl+Spaceでも可能)。